IKUBUNKAN

PREMIUM

学力プレミア　ガイドブック

INDEX 郁文館夢学園 学力プレミアシステム ガイドブック

03 郁文館夢学園「学力プレミア」ここに誕生

04 トップメッセージ 理事長 渡邉 美樹

05 PREMIUM WAY「3つの宣言」

05 宣言 -1-「東大合格者30名の輩出」

07 宣言 -2-「個別最適化学習の確立」

07 宣言 -3-「最高品質の授業・指導法の実践」

06「東大合格請負人が始動!」プロジェクトリーダーインタビュー

08 経験と実績に裏付けされた能力開発戦略

09 PREMIUM WAY「4つの約束」

09 約束 -1-【授業の個別単位細分化】

09 約束 -2-【志望進路別授業の導入】

11 約束 -3-【コーチング手法で主体的行動を強化】

11 約束 -4-【『夢教育メソッド』で学ぶモチベーションを継続】

10 進化を続ける夢教育

12 卒業生が語る!!東大合格への道

13 PREMIUM WAY「5つの特別」

13 特別 -1-【逆算の10000時間で生徒の未来に奇跡を起こす】

13 特別 -2-【大自然の中で目標を共にする仲間と集中学習】

15 特別 -3-【360°全方位支援で学習を最大効率化】

15 特別 -4-【絶対合格へ導くプロフェッショナルが集結】

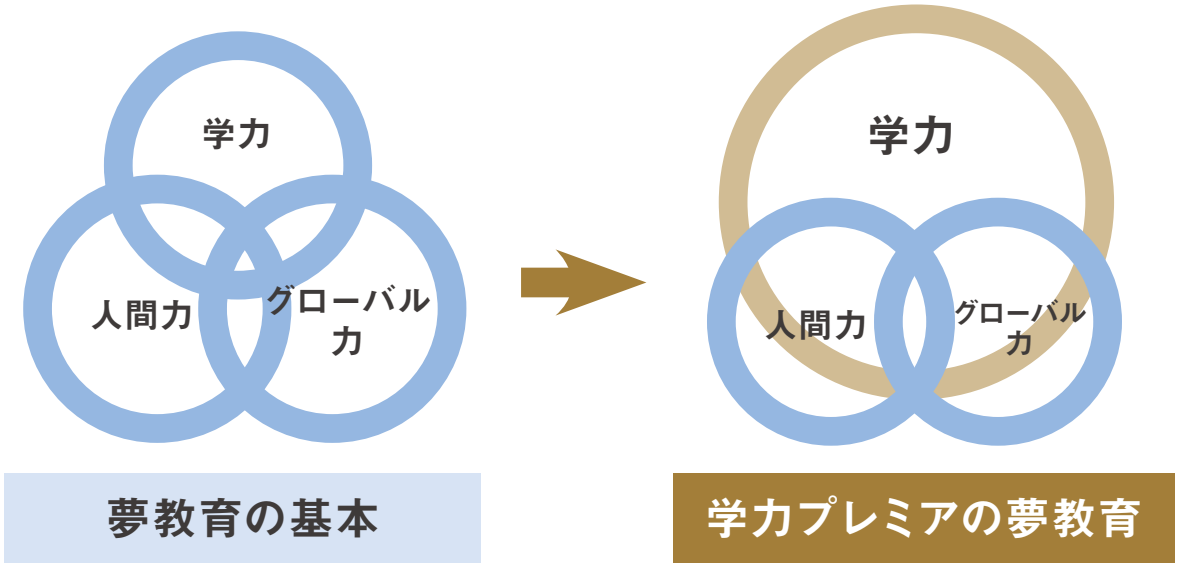
15 特別 -5-【東大に日本一近い立地がアドバンテージ】

14 独自の学習支援&進路指導ツール/東大クラブ発足

『学力プレミア』ここに誕生

生徒が秘める知的好奇心を刺激し学びを究めるために学校教育の概念を超えた環境を実現。
夢を叶えるための道筋のひとつとして「東京大学」への直結ルートを新設しました。

「学力プレミア」概念図



GO NEXT

奇跡を生む、郁文館のプレミアメソッド

郁文館には学ぶすべての子供たちを「人生の主人公として輝かせる」ことをゴールに設定した『夢教育』というシステムがあります。その夢教育を成功に導くポイントは、子どもの潜在能力を120%活かす、引き出す教育を行うこと。そしてその実現のために大学合格をモチベーションとして発揮する推進力ではなく、それぞれの生徒に「夢を持たせ 夢を追わせる」ことをモチベーションに学習への推進力を育ませるという特徴があります。↗

郁文館では、この夢教育をベースに生徒一人ひとりが自身の人生の輝いた主人公となれるよう、暗記力を中心に評価される旧来の受験方式、偏差値学習ではなく、夢教育の三本柱である「人間力／グローバル力／学力」をバランスよく伸ばすことに力を入れてきました。生徒たちはその３つの力を得ることにより推薦・AO入試などをフルに活用して夢の通過点である大学合格実績を積み上げてきた実績があります。しかし、お隣にある日本の最高学府、東京大学の入試問題の研究を続けていた結果、ここ数年その傾向が暗記能力重視から「問題発見・解決力／創造力／イメージ力」など社会を生き抜くための『本当の力（学力）』に求める基準が変化し始めていることを実感していました。

～それであれば夢教育で受けて立とうではないか、しかし東大はゴールではない～

夢とは未来に奇跡を起こすことです。夢に大小はありませんが、郁文館の生徒たちには少しでもたくさんの人を幸せにできる奇跡を目指しなさいと教えています。東京大学は未来の社会により良い影響を与え素敵な奇跡を起こす、そんな可能性を高めることができる要素が日本一詰まった大学であると考えています。だからこそ郁文館は学力プレミアを立ち上げ、夢教育メソッドによる東大合格者30名への挑戦をスタートさせることを決定しました。
将来、郁文館の夢教育で中高時代を過ごし、東京大学で学びを継続・発展させることが、社会により大きく、より良い影響を与える人財となるための「最善の方程式」となることを目指しています。

この「夢教育×学力プレミア」メソッドにはもちろんまだ実績はありません。しかし、これまでにはない東大合格への教育方針に賛同してくれる仲間やノウハウがたくさん集まり、確実に達成できるという確信のもとスタートさせていることも事実です。また郁文館はこれからも東京大学合格のみをゴールに教育を行うつもりはありません。これまでと変わらず、東大の先にある夢を、そしてその生徒が人生の主人公として輝く未来を一緒に追いかけていく考えです。

東大合格のみを目指したい人ではなく、東大の先にある幸せな人生、素敵な奇跡を目指したい人にとって最適な教育環境が郁文館に誕生します。
みなさんと共に歩むことができることを心待ちにしています。

郁文館夢学園 理事長 兼 校長
渡邉 美樹

PREMIUM WAY

3つの宣言　MISSION

4つの約束　PROMISE

5つの特別　SPECIAL

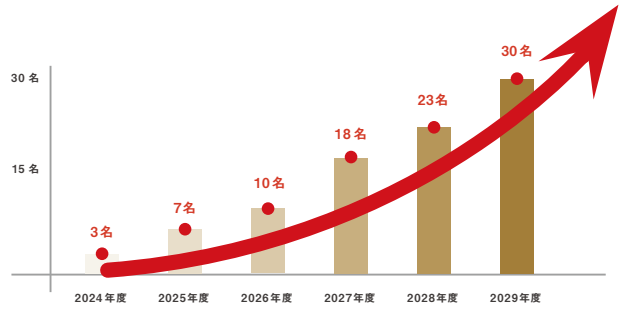
学力プレミアの進む道

MISSION 01 宣言 -1-

東大合格者30名の輩出

● 2029年度、東大合格者30名への宣言

郁文館夢学園では、中高一貫6ヶ年教育・および高等学校3ヶ年教育にて最高の環境を準備し、最高学府の『東京大学』および東京大学以上の海外の大学への合格を支援していきます。
今年度から始まる『学力プレミア』を定着 / 進化させ、6年後の夢学園創立140周年を迎える2029年度に、学園内の高校3校合計で30名、東京大学以上の合格者を輩出する事を達成します。



郁文館高等学校 / 郁文館グローバル高等学校 / ID学園高等学校計
※（グローバル高等学校では世界ランキング100位以上の海外大学もターゲットにしています）

～東大合格請負人が始動！ネクストステージプロジェクトリーダーの近藤です～

今回は、今年度から始まる「学力プレミア」の概要について、ご説明いたします。
2021年、共通テストが始まりました。従来の知識・理解を問うことが多い大学入試センター試験に替わり、思考力や表現力に重きが置かれるようになりました。これと併せるように、18歳人口、及び浪人生の減少もあって、難関国立大においても、合格のチャンスは広がっています。この流れを捉え、2021年度から郁文館では、世界人財を育成するiPクラスも創設されました。世界で、幅広く活躍するための第一歩として、東京大学合格を目指そうというクラスです。
従来より、郁文館では、人間力・学力・グローバル力の育成に努めてきました。「生徒の幸せのためだけに学校はある」を合言葉に、教職員一丸となって、“熱い”指導を行うことにより、夢教育は大きな成果をあげてきました。
一方で、学力の伸長や戦略的な進路指導という観点では、まだまだ挑戦できることがあります。
都立の中高一貫校と進学重点校での経験を活かすべく、昨年度より郁文館に参りました。

都立に進路主任はあまたいますが、中高一貫と毎年何十人も東大を受験する重点校の進路主任を経験した人物はほぼいません。
コロナウィルス感染拡大前には、「東大研究会」という場で、全国の1000人以上の先生たちの前で、東大合格のノウハウの講演もさせていただきました。実は、その研究会に郁文館の先生も聞きに来られていて、そのご縁で、郁文館に来ることになったのです。

都立高校では、良い施策と思っても、予算が取れない、公教育の公平性の壁など、歯がゆい思いもたくさんしてきました。しかし、郁文館に来て、次々と新しい施策が実現していきます。
「生徒のためになるのであれば、躊躇なく実行せよ！」という夢学園の文化の賜物です。
そして、2029年度に迎える140周年に向け、夢教育が新しいステージへとあがる「学力プレミア」が始動しました。昨年の夏、教科主任や各校の教頭と作った土台から、何度も理事長からダメ出しをもらいながら、半年かけて練りに練ったプロジェクトです。
理事長からは、今までのしがらみや余分なことを考えずに、「東大合格を出すために、ベストの方策を取るように。」と指示されて、検討してきました。
プロジェクトの詳細は、以下に2つの基本方針をお話しいたします。

①質の高い授業

・ゴールからの逆算に基づく、計算しつくされたカリキュラムを提供します。
・各校教頭や教科主任たちがすべての授業の進度や質を把握し、効果的な、質の高い授業が行われるようマネジメントしていきます。
・考査の妥当性など教務部を中心としたハイレベルの授業支援体制を構築します。

これらにより質の高い授業が行われます。また、進学トップ校で、豊富な東大受験指導経験のあるプロ教員にも授業を担当してもらっています。

②個別最適化した丁寧な指導

習熟度展開や他校にはない志望別課外学習の実施をします。
通常、教室内では生徒の学力や理解度に差があるため、授業内容が全員にとって適切なものにする事は出来ません。しかし習熟度展開を導入することで、生徒それぞれの学力や理解度に応じた、授業内容をカスタマイズすることができます。
習熟度別授業と志望進路別学習により個々の生徒の習熟度・希望進路に対応した教育を行う事が出来ます。

～ICTを有効活用し さらに手厚い個別指導～

①と②に加えICTを活用し、生徒たちの学習状況を常に把握する事で、より適切な指導を行うことができるようになります。また生徒たちが自らの学力を適切に把握し、それにより効果的に学ぶことができるようになるため、非常に効果の高い結果を導けると思います。
最後になりますが、うちの子は「東大合格」を目指していない、というご家庭もあるかと思います。しかし、新しいステージに向け、学校全体が動きだすことは、すべての生徒に良い影響を与えます。私の経験からも、プロジェクトの始動で、学校が活気づく様子を何回も見てきました。
知識・理解の詰め込みではなく、どんな社会にも通用する思考力や表現力を育成する授業が展開される学校。高いレベルを目指し、切磋琢磨する学校。「学力プレミア」始動によって、そんな学校になっていくことをお約束します。

近藤 明夫
KONDO AKIO

NSプロジェクトリーダー 兼 進路指導部長
郁文館の前は都立戸山高等学校（進学指導重点校）、
その前は都立富士高等学校附属中学校（都立中高一貫校）
で、ともに進路指導責任者を歴任。
2022年度、郁文館に着任。

MISSION 02 宣言 -2-

個別最適化学習の確立

郁文館の『学力プレミア』では、少人数制のクラスと、レベル別 / 志望受験別の授業を取り入れ、生徒の学力を最大限に伸ばすための戦略シートを使って指導を行います。

●目標達成のための戦略シート【高2】 例）

	直近の模試での実績（高2・2学期）		
GTZランク	S1	S 以上	A2 以上
各英数国	1	2	0

→

	次回模試での目標（高2・3学期）		
	S1	S 以上	A2 以上
	2	1	0

組	番号	氏名					
H2	1	OO OO	国数英	国語	数学	英語	戦略
高校２年１学期　実績			S3	S2	A1	S2	次回S2にしたいが数学の対策が必要。数学●を再度復修させる。
高校２年２学期　実績			S2	S2	S3	S1	国語をS1に引き上げるために●●の項目を再度し復習し▲を理解するように、また数学は油断しない様に理解度は常に確認する。
高校２年３学期　実績			S1	S1	S2	S1	全体でS1・数学はS2を目指す、数学・英語は共に過去問を再度挑戦させる。国語は復習をしっかりと反復する。

※学力プレミアでは模試毎の結果などを受け生徒一人ひとりに対して次回に向け目標を設定します。
最適な学習計画を生徒と共有し全担当教員でチームを組んで適切に指導していきます。

いわゆる最上位の進学校ではクラス単位、学年単位での教育となりますが、郁文館のレベル別／志望受験別授業はクラスを２～４つのグループに分けた少人数制で行います。

MISSION 03 宣言 -3-

最高品質の授業・指導法の実践

郁文館では学び続ける教員のみが生徒に教える資格があると考え、授業の質を絶えず向上させるために教頭や教科主任による授業巡回を定期的に行い、授業評価＆フィードバックを行う仕組みなどがあります。
さらに研究授業は進路指導部長自らが行うなど、ベテランから新任の教員までが一丸となって切磋琢磨を繰り返しています。

進路指導部長による研究授業風景

●郁文館教職員研修内容（一部抜粋）

- 教育目的に基づいた判断、指導ができる担任の育成研修
- 生徒の夢に伴走するためのカウンセリング＆コーチング研修
- ICT(情報通信技術）スキル・AI(人工知能）教材活用研修
- 授業アンケートを元に PDCA サイクルを回すスキル／事例研修
- 生産性向上のための問題発見・解決力を磨く能力向上研修

上記の研修は人を育てる専門の部署である人材開発室が行っており、自らが成長し続ける集団を目指して年間 40 以上の研修を行っています。

経験と実績に裏付けされた能力開発戦略

戦略１：絶対合格へ導くプロフェッショナル達

近藤明夫（こんどう あきお）先生 社会科

メッセージ

NS プロジェクトリーダー　兼　進路指導部長

都立戸山高等学校、その前は都立富士高等学校附属中学校で、ともに進路指導に携わってきました。「東大合格」から逆算した学力向上に力点を置いた授業の指針を策定していきます。授業担当者の役割が「教える」授業から「主体的に学ばせる」授業へ変わることをしっかり推進していきます。

荻野大吾（おぎの だいご）先生 数学科

メッセージ

東京都立日比谷・戸山・九段高等学校などで東京大学受験指導を歴任

問題の解き方を覚えるだけでは正答を導けません。考え、予想する力が求められます。読解力も必要です。未知の課題に向かっていく力を付ける指導をしています。

稲名圭子（いなな けいこ）先生 外国語科

紹　介

駿台予備学校英語科講師

英語を単語や文法など語学としてだけではなく、時事問題なども英語で考えさせる指導法で毎年多くの東大受験生を合格に導いている、予備校の名物講師を郁文館に招聘しました。

戦略２：午後の授業を有効活用した能力開発授業

レベル別授業（5,6時間目授業）

●習熟度別 少人数制授業

少人数制クラス５～８名

この授業では習熟度別でレベル分けを行い、習熟度に合わせた細かい指導を少人数クラスで行います。

志望進路別課外授業（7,8時間目授業）

●単位認定ができる特別対策授業

少人数制クラス５～８名

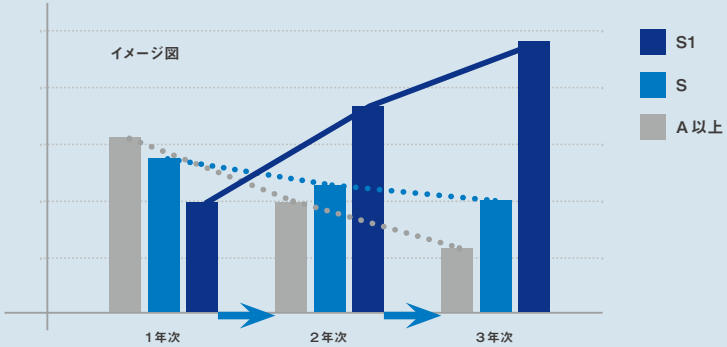
志望レベルに合わせてクラス分けを行います。
受験に向け、特化した演習問題も行います。

※クラスにより午前実施、上記以上の人数になる場合もあります。

戦略３：学力プレミア対応戦略的クラス編成

※ 2024年度入学生のイメージです。

戦略４：目標から逆算した能力開発戦略



３ヶ年のベネッセ GTZ 指標の目標を立て、戦略的指導を実施

PROMISE 01 約束 -1-

授業の個別単位細分化

習熟度に合わせた細分化授業
『クラス単位』→『個別単位』への挑戦

上記の挑戦は、習熟度に合わせたクラス単位の授業からさらに個人に寄り添ったグループ分けを行い、得意苦手な教科があっても最適なレベルで学ぶ事ができる様にすることです。

今までの教育方法では、生徒たち（30名～40名）を同じクラスにまとめて、同じ内容の授業を受けさせることが一般的でした。しかし、この方法では、生徒たちの習熟度に応じた教育を提供することができず、生徒たちの学力差が広がる可能性があります。

【郁文館】では英語と数学を中心とした主要教科に幅広い指導体制で対応していきます。通常授業でも少人数制、またレベル別授業では５～８名のレベル別授業を行い個々のレベルに合わせて学習させていく事ができる様にしていきます。

※クラスにより上記以上の人数になる場合もあります。

PROMISE 02 約束 -2-

志望進路別学習の導入

『教科・科目別単位』→『志望学部／入試方法毎』の
個別課外学習への挑戦

この挑戦は「教科・科目授業」から「学部 / 専攻、入試方法毎の課外授業」へと移行して個別の生徒の学力や進路希望に応じた授業や課外授業を提供する、予備校などが取り入れている教育手法を目指しています。

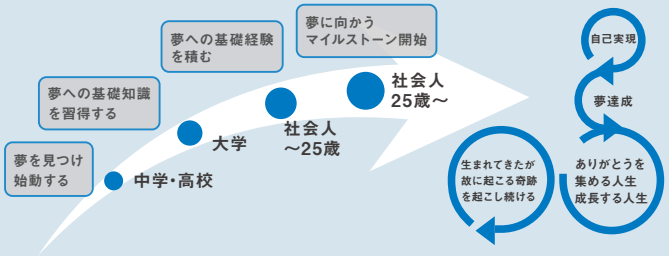
今までの教育はあくまでもクラス単位や各教科のレベルにて授業選択を行う事が通常でした。生徒は教科書に沿った教科の学習となり、単位を履修することを主な目的とした取り組みになります。

【郁文館】では、充実した課外授業により志望する学部 / 専攻、入試方法に合わせた対策を行っていきます。この課外授業は個々の生徒の受験科目や入試方法に合わせてクラス分けを行い目標に合わせて学力の向上を図り単位認定をします。

※小論文指導は必要とする生徒に対し、別途プログラムを準備しています。

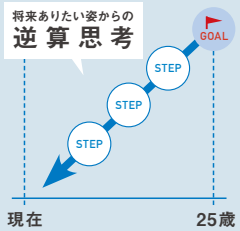
進化を続ける夢教育

1st Point
好きで得意なことを見つけ伸ばしていく夢教育



教育目的である「夢を持たせ、夢を追わせ、夢を叶えさせる」ために、生徒一人ひとりの夢・目標に合わせて教員が伴走しています。好きで得意なことを一緒に見つけて行くことが夢教育の始まりとなります。

2nd Point
25歳を人生のスタートに設定し逆算する夢教育



【郁文館のオリジナル夢手帳】
郁文館の夢手帳には、将来のありたい姿から逆算し中学高校時代の目標、計画を立てることで、今日すべきことを明確にして日々を送ることができる仕組みがあります。

郁文館の教育は大学合格がゴールではありません。郁文館の夢教育は25歳 それぞれが人生の主人公として輝いている事を教育のゴールと設定し、そこから逆算した日々の教育指導を徹底しています。

3rd Point
逆算の10000時間で奇跡を起こす夢教育

夢から逆算する意識した計画と行動で10000時間を埋め尽くす。

授業だけではなく放課後、自宅、休日等の時間も計画化する！

授業 ＋ 学校行事 ＋ 放課後 ＋ 自宅休日 ＝ 10000時間

夢を実現するために、必要な活動を自ら選び、「計画・行動」をカスタマイズ!!

「人は10000時間努力すればその分野で一流として活躍することができる」ということをアメリカの心理学者が提唱しています。私たちは中学３年間、高校３年間でのそれぞれ 10000時間を夢の実現のために使うべきだと考えます。人生は山登りに似ていると言われています。人は生まれながらにそれぞれ登るべき山があり、その山に登るため必要なことを身に付ける 10000時間プロジェクトを夢教育に取り入れていきます。

個性を大切にする夢教育

25歳、夢教育を土台に活躍する卒業生

大空 幸星さん（25歳） 2016年度 卒業生

2020年大学在籍中に私はNPO法人を立ち上げました。高校時代に自分の個性を尊重してくれたことが、今の事業の源泉になっています。NPOは理念で動く組織です。そして理念は煎じ詰めると創設者の切実な思い、もっといえば個性だといえます。生徒を型にはめるような画一的な教育だとそういった個性が潰されてしまう危険性があると思いますが、郁文館の教育はその真逆にあると思います。

2017年3月/郁文館グローバル高等学校 卒業
2017年9月/慶應義塾大学総合政策学部 入学
2020年/慶應義塾大学在籍中にNPO法人「あなたのいばしょ」設立
2020年～内閣官房孤独・孤立の実態把握に関する研究会構成員、こども家庭庁こども家庭審議会こどもの居場所部会委員、東京都こども未来会議委員などを務める。
2023年現在/ラジオ番組、各テレビ局、ニュース番組コメンテーターとして多数出演活躍中

PROMISE 03 約束 -3-

コーチング手法で主体的行動を強化

『Teaching』×『Coaching』の両立。
生徒と併走し『主体的に学ぶ姿勢』の醸成

『Teaching（教えること）』と『Coaching（指導すること）』は異なるアプローチであり、それぞれに独自の役割があります。『Teaching』は知識を伝え、理解を促し、スキルを習得するための指導をすること、一方『Coaching』は生徒自身が目標を設定し、その目標を達成するために必要な能力や行動を引き出すことが主な目的です。

『Coaching』の指導法の導入は現在文科省より推奨されていますが、まだまだ実際の教育現場では教員が生徒に『Teaching』する教育法から脱却しきれていません。また考査、模試の結果や進路に対する対策も生徒に任せきりになってしまっている学校も多いのが現実です。

【郁文館】ではゴールからの逆算に基づく計算しつくされたカリキュラムを実施していきます。その場面に合わせて Teaching と Coaching を使い分けることで、１＋１＝２ではなく、掛け算で結果の最大効率化を図ることで、生徒自らが学ぶ意識を高めていきます。

PROMISE 04 約束 -4-

『夢教育メソッド』で学ぶモチベーションを継続

夢を基軸にモチベーション向上、
『夢教育メソッド』で継続して東大合格を目指せる教育の実践

大学受験は長期的であり、個人戦の側面もあります。特に最難関大学を目指す場合、長期に渡り学力を向上させるモチベーションを維持する事は非常に困難です。自ら学びたい意識を持ちつづけるには内側から出てくる動機形成が大切です。

一般の高校では学ぶモチベーションのゴールを大学合格に置いている所が多く、またその大学合格とは他から与えられる評価（相対的価値・偏差値等）が中心となっている事が多いです。

郁文館のゴールは大学合格ではなく、卒業してから３年後の 25 歳に自分がなりたい未来にゴールをおきます。よって東大はあくまでも夢の通過点でしかありません。

学ぶ動機や学びのゴールは大学の先の 25 歳に設定されていますので、自分の未来にワクワクしながら学び続ける事が出来ます。

Interview from the campus

卒業生が語る東大合格への道

東京大学で学ぶ先輩、石田啓さんに郁文館での
夢の叶え方について聞きました。

東京大学に入るためにはどのような努力が必要ですか。また行いましたか？

基本的には自分にできることを一つずつ積み重ねていくことが重要だと思います。私の在学時は授業後に「早慶講座」という大学入試や模試の過去問などの発展的な問題を扱う講習が開講されていたため、それを積極的に受講して演習を行っていました。独りで机に向かって勉強するというのが個人的にものすごく苦手だったので、学校やカフェ・ファミレスなどできるだけ他人の目がある状況に自分を置くようにしていました。

受験勉強に奮闘しているときの学校からのサポートや友人との関係で印象に残っている事を教えてください。

学校からのサポートとしてはやはり前述の早慶講座等の各種講習の開講が個人的には一番ありがたかったように感じています。
他にも受験期ではないものの高２から高３にかけての春休みに化学の先生にお願いして少人数に対しての集中講義をしていただいたこともあり、非常に感謝しています。友人との関係については、友人に勉強を教えることで自分の勉強にもなっており、また他愛もない雑談がストレス発散になっていたようにも思います。

東京大学での経験が将来のキャリアや人生にどのように役立ちそうだと考えていますか。

高校在学時は薬学部に進学後、薬剤師資格を取得し臨床現場で働くことを考えていましたが、薬学部の授業や研究室での研究生活を通して研究職への興味が大きくなり、現在は企業等でたくさんの人を救うための基礎研究を行うことに興味が湧いてきました。

東京大学を目指す郁文館生に東大の魅力を教えてください。

大きな夢や目標を叶えるための必要な専門知識や技能を身に付けるには教授陣はもちろんのこと設備や周りの学生も含めて東大には最高の環境が整っていると思います。
通常の大学では１年次から学部や専攻が決まっていますが東大は３年次から専門分野の講義が始まります。1,2 年次はその準備段階として幅広く教養を学ぶため、1,2 年次に新たな興味関心が生まれた場合は３年次から新たな専門分野への挑戦が可能となります。
自分の興味をとことん深く突き詰められる自由度と許容度が東大の魅力の一つだと思います。

石田さんは東大クラブでも講演もして頂きました。
詳細は後述の東大クラブ（P.14）をご覧ください。

東大生になってみて振り返る「夢教育」をどう感じていますか？

夢教育を受けて多面的なものの見方ができるようになったと思います。おそらくそれは在学中勉強だけをやっていたら養われなかったことだと思いますし、東大合格だけを目指していたら得られなかったものだと思います。郁文館での様々な経験が自分の視野を広げてくれたのだと考えています。学力もそうですが、それ以外の視点を持つことができるのも夢教育の大きな魅力だと振り返って強く思います。

石田 啓さん
ISHIDA HIROSHI
郁文館高等学校 2018年度 卒業生

Profile
2019年 3月 /郁文館高等学校 卒業
2019年 4月 /東京大学 前期教養学部 理科二類 現役合格
2023年 3月 /東京大学薬学部薬学学科 卒業
2023年 4月 /東京大学薬科学科大学院 入学

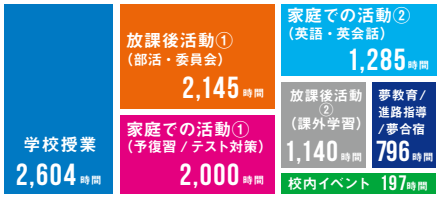
SPECIAL01 特別 -1-

逆算の10000時間で生徒の未来に奇跡を起こす

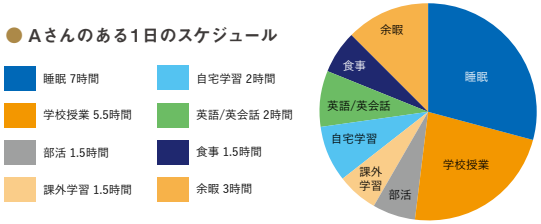
中高時代の有限な時間を夢に向かって意識的に活用！

「10000時間プロジェクト」は、本校の根幹である夢教育を更に深化させるためのプロジェクトです。
生徒は自身の夢や目標の実現に向け、中学３年間・高校３年間で「夢に向かう10000時間」の使い方を明確にイメージし、計画を立て、実行に移していきます。毎日の取り組みは所定のシートに入力し、教員と共有しながら、計画の進捗状況を可視化します。毎日を夢から逆算した計画に基づき意識して行動することで身に付く「行動力や努力の習慣、正しい生活習慣」が東大合格に直結するといっても過言ではありません。

●国連職員を目指しているＡさんの10000時間計画



● Ａさんのある１日のスケジュール



SPECIAL02 特別 -2-

大自然の中で目標を共にする仲間と集中学習

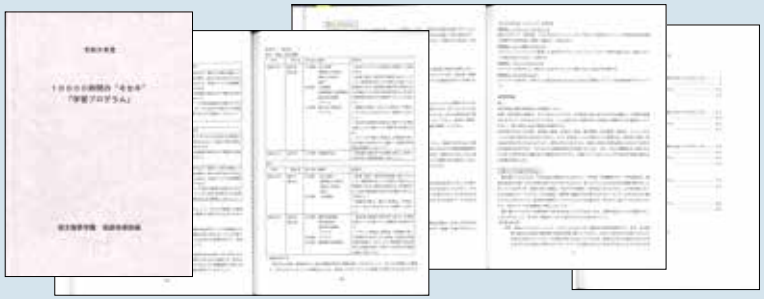
仲間と共に 150時間以上の集中学習を行う、毎夏恒例の10泊11日の集中合宿！

郁文館には毎夏実施する10泊11日の集中合宿があります。通常の日常生活や学校の環境から離れ、学園の研修施設である長野県東御市にある「鴻夢館（こうむかん）」で過ごします。大自然の中で過ごすことで、心身ともにリフレッシュし、集中力を高めることができます。
さらに同じ目的を持つ仲間と一緒に生活することで、学習へのモチベーションを高め、切磋琢磨することができます。
合宿のプログラムでは中学２年生～高校３年生まで同一の東京大学の模擬試験を行います。中学２年次から早期に東大模試を受けることで早いうちに対策を練ることができ、結果に基づいて勉強方法を改善することができます。
また、「夢教育」を土台に他者との共同生活における協調性など、社会で生き抜いていくための【人間力】を養うこともできます。

独自の学習支援 & 進路指導ツール

■ 100ページ以上にも及ぶ学習支援 & 進路指導ハンドブック

郁文館には、これまでの進路指導ノウハウと外部スペシャリストなどの意見を取り入れた独自の『学習プログラム』があります。学年・教科・習得度などに合わせた指導方針を全102ページにもわたり作成し、全教職員で共有しています。



■得意を伸ばし苦手を克服するためのオンラインツール

郁文館では独自データベースで運用する個人別カルテを、考査/模試の結果と『すらら』『Classi』『スタディーサプリ』等と組み合わせることにより教育 DX を実現。個別最適化な指導を行っています。

個別の習得度と模試の結果を連動させて学習効果を高めるアプリを使用しています。

ICT 教材「すらら」での学習量が
全国1位 (238校中)

中学校では苦手な箇所を繰り返し基礎から反復するために「すらら」を活用しています。
2022年度は生徒の活用ランキングで全国1位に輝きました。

東大クラブ発足

2023年郁文館に新しい部活として「東大クラブ」が誕生しました。

甲子園に行きたいから野球部に入るように東大へ行きたいからそれに直結するクラブに入りたいという気持ちに応えるために、郁文館では東大クラブを設立しました。

東大クラブの活動例

活動1、毎月開催される全体ミーティング
活動2、東大受験のための講演会やスペシャルイベント開催
活動3、ICT教材を活用し、学習時間の記録を毎日確認
活動4、進路指導部長による学習カウンセリング診断の実施
活動5、ハイレベル模試の受験と成績分析の提供
活動6、プロ講師や本校ベテラン教員による特別講習を受講

※東大クラブの入会には一定の成績基準があります。

スペシャルイベントの紹介

初回

設立記念講演として、「東大王」でも活躍されていた、岡本沙紀さん（東京大学工学部）をスペシャル講師にお迎えし登壇して頂きました、また近藤進路指導部長より設立の思いや背景、目的が伝えられました。

2回目

本校の卒業生で現役東大生である石田啓さんを招き、東大クラブの生徒を対象として講演会を行いました。
講演会が終わった後には個別の質問や相談も乗って頂きました。

3回目

東京大学の関係者に郁文館にお越し頂き講演をして頂きます。そして講演後には東京大学のキャンパスを見学するツアーを実施。（歩いて行ける距離だからこそ！！）

東京大学合格を勝ち取るために切磋琢磨する“仲間”作りの場。
学校も全力で、応援します。

SPECIAL03 特別 -3-

360°全方位支援で学習を最大効率化

逆算の10000時間を可視化！
生徒を360°全方位支援する事によりPDCAサイクルを最適化！

一人ひとりの学習進捗や理解度を把握し、個別に最適化された学習プランを提案します。これにより、生徒それぞれが最適なペースで学習でき、より効率的に目標に向かうことができます。2023年よりシステム運用を開始した郁文館デジタルキャンパスシステムの独自データベースを活用し理解しきれていない箇所や苦手な分野を早期発見し、生徒が困難にぶつかる前に問題を特定することにより、先手先手で対処することが可能となります。これにより、自身に対する理解度を向上させることができ、さらに効率的な学習計画を立てる事が可能になります。

SPECIAL04 特別 -4-

絶対合格へ導くプロフェッショナルが集結

東大合格のためだけに独自に設計された学習環境を、
つくり上げる「郁文館東大専科」の立ち上げ

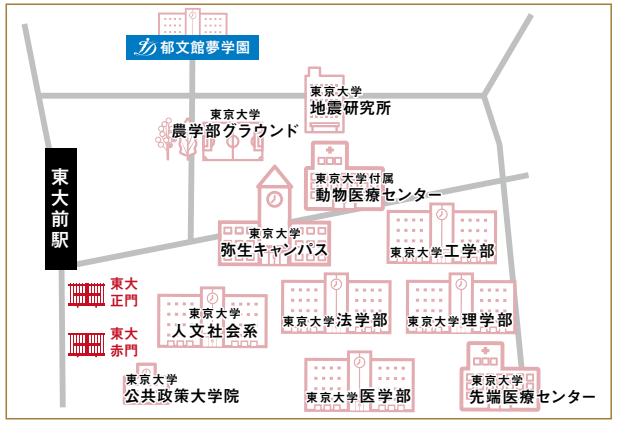
郁文館東大専科は、東大合格請負人のプロジェクトリーダー 兼 進路指導部長 近藤教諭を中心に専門家たちが構築した学習システムであり、大手進学予備校にも負けない、学校教育の概念を超えた教育プログラムを提供しています。東大受験のエキスパートの現役予備校講師や都立進学指導重点校高等学校での東大合格実績多数のエキスパート教員などのノウハウを活かした万全の指導体制で、生徒たちに最善の学習環境を提供しています。また課外学習時間には大学受験専任のチューター制度も完備し自主学習サポートもしています。

SPECIAL05 特別 -5-

東大に日本一近い立地がアドバンテージ

日本で一番東大に近い立地を活かし
様々な場面で東大を身近に！

郁文館と東京大学は、同じく明治時代に創立され長い年月を同じこの文教の地で過ごしてきました。創立当時は野球部などで盛んな交流があり、この交流が後の大学および高校野球の発展にも大きく影響を与えたといわれています。また当時は多くの生徒が東京大学へ進学していました。現在も東京大学の留学生が郁文館高等学校へ訪問するなど、近い立地を活かし様々な交流を行っています。
これからも『日本で一番近い』を武器に、郁文館だからこそ東大合格へのサポートを強化推進していきます。



郁文館夢学園は東京大学各施設と同じ地域に校舎を構えている為、生徒たちは常に東大生に囲まれて学園生活を送っています。

郁文館中学校
郁文館高等学校（普通科）
郁文館グローバル高等学校（国際科）
ID学園高等学校（単位制・通信制）

東京都文京区向丘２丁目19番１号